

日本プロセス化学会第 20 回理事会議事録

日時 平成 22 年 12 月 3 日(金) 10 時 30 分～12 時

場所 ウィンク愛知 11 階 1101 会議室

出席者欠席者 略 出席 21 名

議題

(1) 確認・報告事項

1. 第 19 回理事会議事録が承認された。
2. 2010 年度通常総会議事録が承認された。
3. 2010 サマーシンポジウム報告ならびに収支決算について了承された。
4. JSPC 優秀賞 2010(3 件)が承認された (資料 3)。
5. 2010 ウィンターシンポジウム準備状況(338 名参加)が佐治木弘尚副会長 組織委員長より報告された。
6. 2011 国際シンポジウム ISPC2011 準備状況(講演者 14 名中 13 名確定)が佐治木弘尚副会長 組織委員長より報告された。
7. 2011 ウィンターシンポジウム準備状況(東京地区、加藤(昌)理事、金井教授)が鴻池敏郎副会長より報告された。
8. 第 5 回プロセス化学ラウンジ準備状況(荒木氏、2/3, 4)が鴻池敏郎副会長より報告された。
9. プロセス化学新規単行本の発刊(Wiley)について塩入孝之名誉会長より報告された。
10. 出前講義の実施(6 件)が富岡清 会長より報告された (資料 4)。
11. 日本薬学会第 131 年会(静岡)シンポジウム(鴻池副会長、新藤教授、3/30 am)について鴻池敏郎副会長より報告された (資料 5)。
12. 地区フォーラムについて左右田 茂副会長より報告された。
13. 大学評価・学位授与機構評価委員 2 名の推薦について富岡清 会長より報告された。
14. その他

(2) 協議事項

1. 理事新任ならびに交代について承認された (資料 6)。
2. ISPC2011 プロセス化学国際シンポジウムの講演者について根岸教授、女性を含めて佐治木弘尚副会長 組織委員長の方針が承認された。
3. その他

文責 富岡清 20101214

資料 3

JSPC 優秀賞 2010

1. AZADO 酸化の工業化検討-実機テスト製造による実証-
日産化学工業 (株) 小野田工場技術開発室 医薬品課
○福屋俊輔, 半田道玄, 坂田賢哉, 古田島博之, 大谷基
2. オリゴ RNA 合成用新規ホスホロアミダイトモノマーの開発
株式会社カネカ フロンティアバイオ・メディカル研究所
○前田博文, 藤井章雄, 満田勝
3. 抗結核薬 R207910 の触媒的不斉合成
東京大学大学院 薬学系研究科
○嵯峨裕, 元木理恵, 榎野早恵, 清水洋平, 金井求, 柴崎正勝

資料 4

出前講義「医薬品のプロセス化学」2010 年 (平成 22 年) 度概要

1. 東北大学大学院理学研究科化学 長 秀連理事 50 冊
2. 岐阜薬科大学大学院薬学研究科 田上克也理事 50 冊
3. 東北大学大学院工学研究科正田晋一郎教授 鴻池敏郎副会長 50 冊
4. 大阪市立大学大学院理学研究科化学科 大船泰史教授 鴻池敏郎副会長 25 冊
5. 名古屋大学大学院理学研究科・工学研究科 山口茂弘教授 鴻池敏郎副会長 60 冊
6. 神戸薬科大学 宮田興子 教授鴻池敏郎副会長 15 冊

資料 5

プロセス化学的な創薬 Process Chemistry Directed toward Drug Discovery

1. 経口カルバペネム テビペネムピボキシル (TBPM-PI) のプロセス開発
明治製菓医薬研 阿部隆夫
2. 緑内障治療薬タフルプロストの創製-フッ素を鍵とする新薬開発-
旭硝子有機合成研 松村靖
3. 2-シアノエトキシメチル保護基を用いた RNA 合成法の開発と長鎖 RNA 合成への応用
日本新薬東部創薬研 北川英俊
4. カテプシン K 阻害剤 Relacatib のプロセス開発
グラクソスミスクライン化学開発部 松橋速生
5. 不均一系白金族触媒の新しい機能開発とプロセス化学的応用
岐阜薬大 佐治木弘尚

資料 6

理事交代：白木一夫理事 和光純薬工業 (株) 化成品事業部 化成品開発本部 商品開発部長
(田中巧理事から交代)

理事新任：西川 義則 理事 大日本住友製薬株式会社 技術研究本部 プロセス化学研究所
プロセス化学第 3 グループ GM